



基本理念
私達は心の
こもった医療を
行い、地域に信頼
される病院とな
ることを目指し
ます。
独立行政法人
国立病院機構高知病院

編集●独立行政法人国立病院機構高知病院広報誌編集委員会 / 代表●大串文隆 / 住所●高知市朝倉西町1丁目2番25号 / 電話 088-844-3111 / FAX 088-843-6385

高知病院の 目指すところ



NHO高知病院 院長
大串 文隆

私たちに多くの感動を与えてくれたリオデジャネイロのオリンピック、パラリンピックも終わり急に秋らしくなってきました。職員の皆さんには開院記念式、地域医療連携連絡会議、日本医療マネジメント学会高知県支部学術集会など病院関連の多くの行事が短期間の間に集中して開催されたため多忙な夏であったかと思えます。本当にご苦勞様でした。旧国立高知病院と国立療養所東高知病院が統廃合し新しい国立高知病院として開院したのが平成12年10月1日でした。この年もオリンピック年であり第27回のオリンピック、パラリンピックがシドニーで開催されています。9月24日女子マラソンで高橋尚子さんが金メダルをとったのですが、ラジオ放送の実況を聴きながら高知道を走っていたのを思い出します。その後アテネ、北京、ロンドン、リオデジャネイロと開催され高知病院が開院してから5回のオリンピックを経験したことになります。オリンピックは4年に1度の開催ですので、高知病院もこの10月1日に開院16周年を迎えることとなります。この間国立病院は平成16年に独立行政法人化され平成27年には中期目標管理法（非公務員型）となり体制も大きく変わってきています。高齢化社会を迎え医療環境も大きく変化しこれに対応するべく地域医療構想が発表されました。地域医療構想とは団塊の世代が後期高齢者に移行する2025年における医療需要を予測し、医療需要と患者の病態に応じた病床バランス（必要病床数）を想定し医療提供体制を見直すことで、行政主導の病床再編、病床削減計画ではないといわれていますが、人口減少も進んでおり適切な病床数に誘導されていくことは間違いありません。高知県では高

知病院が属する中央医療圏に医療機関が集中し病床の過剰地域で、回復期病床のみが不足している状況といわれています。特に高知病院が医療機能として分類される急性期は必要病床数の約2倍の病床があり削減が求められる可能性は高いと思われます。今後、医療政策の変化に伴って病院経営が困難となる病院が出現してくることが予想されていますが、このような環境の中で高知病院も運営をしていかなければなりません。国立病院機構の病院は基本的には独立採算制で高知病院も経営状態が悪ければ存続できなくなることは以前より指摘されていますが、どのような環境にあっても高知病院を守っていかなければなりません。現状では非公務員型になり、病院からの支出が従来からの拠出金に公経済負担、整理資源、労災保険、雇用保険の事業主負担などが追加されたため病院経営を圧迫するようになり高知病院も厳しい経営状況に直面しています。もちろん、病院は利益を上げることを目的にしているわけではありませんが、経営基盤の確立なしには安全で良質の医療を提供することはできません。地域医療構想のなかで高知病院は現在の病床数を維持していく予定ですしそのためには患者さんに信頼され選ばれる病院にならなければなりません。医療環境がいかに変化しても高知病院が存在し続けるためには一人一人が高知病院の職員であるという自覚を持ち患者さんに心のこもった医療を提供することが最も重要なことと思います。皆さんと一緒にこの逆風の中、高知病院を今まで以上に発展させていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

第14回日本医療マネジメント学会 高知県支部学術集会に参加して

経営企画室長 島村 嘉人



8月28日（日）高知市文化プラザかるぽーとにおいて第14回日本医療マネジメント学会・高知県支部学術集会を開催しました。

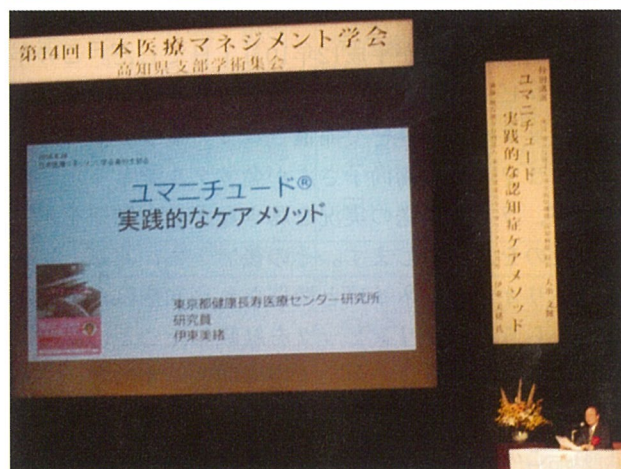
この学会は医師、看護師、薬剤師、医療技術師、事務職、医療経営者が参加し、クリティカルパス、医療安全、医療の質、地域連携、患者サービス、病院運営など多岐に渡り医療の在り方を論ずる場として非常に重要なものとなっています。

当日は本年度学術集会会長である当院・大串院長の挨拶から始まり、2会場、17セッション、演題56、参加者約430名の学会が開会しました。

特別講演は、今後重要な臨床課題と思われる認知症を持つ患者対応について地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム 伊東 美緒 氏に「ユマニチュード®実践的な認知症ケアメソッド」と題してご講演を頂き、映像など具体的な題材を盛り込み、認知症を持つ患者への対応方法についてわかりやすくお話し頂き、盛会のうちに学会が閉会しました。

私もこの学会の会場準備から関わり、患者サービスのセッションでは座長を務めさせて頂きました。県内各病院の職員より待合時間対策、保留レセプト削減、苦情対応について演じていただきました。患

者さんからの視線、職場での情報共有、初動対応など今後患者サービスを考える上で大切なキーワードを見つけることができ、私にとっても有意義な学会となりました。最後に学会運営にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



開院15周年記念式典・ 第8回地域医療連携連絡会

看護師長 西本 美香



8月6日に開院15周年記念式典・地域医療連携連絡会をザ・クラウンパレス新阪急高知で開催しました。高知県下の病院から医師や地域医療連携室等の方々71名にご出席頂き、院内参加者とあわせて総数159名と盛大に行いました。地域医療連携連絡会は、地域の医療機関の方々と直接お会いし、当院について知って頂くことやご意見を頂き今後の改善や取り組むべきことを知ること、顔の見える連携ができることを目的に開催しており、今年で8回目になります。加えて国立高知病院と国立療養所東高知病院が統廃合し新病院として開院し15周年の節目の年となりました。

開院15周年式典の部は、大串院長のあいさつで開会しました。高知県医師会会長岡林弘毅先生、中国四国グループ担当理事中川義信先生から来賓祝辞を頂きました。その後、国立病院機構本部副理事長古都賢一先生により「地域に生きる国立病院機構の明日」というテーマで特別講演が行われました。国立病院機構の歴史や役割、医療・投資・政策動向からみた課題について、役割を果たすために各施設・各個人が課題をもって取り組むことについて学びました。

第8回地域医療連携連絡会では、篠原勉臨床研究部長、日野弘之地域医療連携室長が各診療科の強み

を紹介しました。その後の特別講演では、高知県健康政策部医療政策課長川内敦文先生に「地域医療構想から医療計画へ」というテーマでお話頂きました。高知県の医療提供体制、地域医療構想、「県民の誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることのできる高知県の実現に向けて、県民誰もが安心して医療を受けられる環境づくり」を基本として体制を整備している取り組みについて認識を深めることができました。地域医療構想で高知県が病床数を大幅に削減されることでの危機感や地域住民を含めた意識の改革が必要になること、その中での高知病院の果たすべき役割について改めて考えさせられる機会となりました。

この度の講演や意見交換会を通じて、地域の医療機関と連携を図り、顔の見える関わりを行っていくことの重要性を再認識することができました。職員一人ひとりが、当院の役割を理解し、地域包括システムを築いていくことが求められます。在宅療養推進に向けて、地域と看護を繋ぐ退院支援を、患者・家族の望む支援を行い、信頼される関係づくりを行っていききたいと思います。最後に、院内の皆様方のご協力のもと開催することができ、感謝申し上げます。



診療科紹介

呼吸器外科

副院長 先山 正二
副呼吸器センター長 日野 弘之



当院では呼吸器内科および呼吸器外科部門よりなる呼吸器センターを設けており、呼吸器疾患全般を内科、外科がシームレスに連携して診療にあたっており、より安心、安全で信頼される医療の提供に努めています。

呼吸器外科では、肺がん、縦隔腫瘍（胸腺腫、胚細胞性腫瘍など）、胸壁腫瘍などの腫瘍性疾患、急性・慢性膿胸、非結核性抗酸菌症、肺アスペルギル症などの感染性疾患、気胸や胸部外傷などに対する外科治療を担当しています。その他、腫瘍などによる気道狭窄に対するレーザー治療や気道内ステント治療にも実績があります。

当科で扱う最も多い疾患である肺がんの外科治療においては、その大部分の症例において完全胸腔鏡下に手術を行っています。当該手術は胸腔鏡手術器具と手術技術の進歩により、手術に際して、胸壁を構成する肋間筋や前鋸筋といった補助呼吸筋の損傷が少なく、高齢者や低肺機能の患者さんに対して従来の標準開胸術と比較してより低侵襲の術式となっています。もちろん、肺がんに対する根治性と安全性を担保した上で胸腔鏡手術を実施することを大原

則としています。進行肺がんにおいては導入化学（放射線）治療を行い、その後に根治手術を考慮する集学的治療にも積極的に取り組んでいます。

当科では肺気腫や肺線維症などの肺疾患にともなう続発性気胸や難治性気胸に対する治療にも実績があります。通常、気胸に対する手術は自動縫合器による病変部の切除が一般的ですが、術後の再発がある一定の割合で生ずることが報告されています。そこで、当科では数年前より、気胸の原因となっている気漏部分の切除ではなく、当該部分を中心にループ状になった吸収糸をかけて結紮する方法を好んで持ちいています。当科における本方法の成績の検討では、従来の自動縫合器を用いた方法に比較して、術後気胸の再発の割合が少ないという結果を得ており、今後、本術式を全国的に広めて行きたいと考えており、学術集会等での報告を積極的行っています。

以上、当科で扱っている対象疾患と、最近の取り組みの一端をご紹介させていただきました。今後も当科の強みを生かして地域医療に最大限尽力してゆく所存ですので宜しくお願い申し上げます。

診療科紹介

小児科

当科は、①一般小児科部門（咳・鼻・下痢などの感冒症状や熱性けいれんなどの外来診療・入院管理、乳児健診・予防接種、発達やアレルギーなどちょっと専門的な診療など）、②新生児部門（産科と連携した正常新生児の管理、ハイリスク分娩への立ち会いからNICUでの人工呼吸管理など）、③重症心身障害部門（重度・重複障害を持つ子どもからおとなまでの入院管理）の診療を行っています。さらに高知市中央圏内の24時間救急体制に協力し、月に数日夜間・休日の救急当番を担当しています。それぞれの一つ一つの規模は決して大きなものではありませんが、少人数ながらこのような広範囲の診療をこなしている病院は全国的にも珍しいのではないかと考えています。そのため、小児科研修病院としてはとても有意義な病院で、毎年大学病院から若い小児科医が研修にやってきます。子どもたちの診療はもちろん



小児科医長 武市 知己

ですが、これからの小児科医を育てるための研修病院としての役割もまた、非常に大きいと考えています。まだまだ至らないところもあるかと思いますが、皆さんから多くのことを学びながら小児科医として成長するように努めていきますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

さて皆さん、小児科外来待合の絵本がこの数年間で少しずつ増えてきているのをご存じですか？

待合室が広さからするとまだまだ少ない数ですが、意外と面白い絵本があると思います。気に入った絵本があれば、すり切れるまで何度でもお子さんに読んであげてください。

皆さんが少しでも楽しく過ごせるように、これからも徐々に増やしていこうと思っています。時々、新しい絵本がないかどうか探してみてください。

新医師紹介



泌尿器科医師 佐竹 宏文

9月1日より当院泌尿器科に赴任いたしました佐竹 宏文（さたけ ひろふみ）と申します。出身は高知県で、平成9年に高知医科大学を卒業し、その後県内研修を経て高知大学医学部附属病院に勤務しておりました。大学病院では、一般泌尿器科疾患以外にも腎癌、膀胱癌、前立腺癌など悪性疾患の診療・治療に携わってきましたが、最近泌尿器科領域では、手術の大半は腹腔鏡手術やロボット手術がほ

とんどを占めるようになり、私も高知県人として一念発起し、国内で泌尿器腹腔鏡手術では有名な広島県にある呉医療センター・中国がんセンター泌尿器科に平成24年から1年間単身で腹腔鏡手術の修業をさせていただきました。そこで学んだことを糧に大学病院に帰ってからは低侵襲治療を心がけ、後輩の指導も行っていました。

この度国立高知病院での勤務の拝命を受け、泌尿器科領域における低侵襲治療をはじめ地域医療にも貢献したいと考えております。我が母校の近くで見慣れた病院でもありますので、なお一層心を引き締め頑張っていきます。

今後ともよろしくお願いいたします。

平成28年度『つくし花火大会』

今年もつくし病棟の夏の行事である「つくし花火大会」が8月23日（火）に開催されました。今年は病棟毎での開催となりましたが、各病棟でとても盛り上がりました。当日は、始まる前に雨が降り始めてしまいましたが、暗くなる前にはなんとか止みました。ホッ！

最初に、高知大学合唱部の方々にお越しいただき、素敵な合唱を披露してもらいました。合唱曲は全部で5曲披露され、曲の中には「ひまわりの約束」や「365日の紙飛行機」などもあり、皆さん知っている曲が始まると、一緒に口ずさんだり手拍子をしたりと楽しんでいる姿があちらこちらで見られました。

合唱が終わると、今回のメインである花火大会です。病棟のテラスへ出て、まずは見る花火を楽しみました。吹き上げ花火、打ち上げ花火、ナイアガラとカラフルな花火に火が着くたびに、大きな歓声があがり、とても盛り上がりました。そして、最後は手持ち花火です。1本ずつでしたが、楽しそうな声が聞こえ、良い夏の思い出になったと思います。

今回、つくし花火大会にご参加、ご協力していただいた皆様、ありがとうございました。

保育士 瞳



「第12回中国四国地区国立病院機構・ 国立療養所看護研究会」 に参加して

看護師 片岡 梨奈



私は、9月3日に米子市で開催された「第12回中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究会」に参加してきました。

当日は、「低酸素性脳症児の在宅療養を希望する家族の思いに添った援助」というテーマで発表をしました。発表を通し日頃の看護を客観的に振り返ることができ、今後の看護の糧を得ることができました。発表後の質疑応答では、同じように在宅というテーマで研究された施設からの質問があり、他施設でも同様な課題に取り組んでいることがわかりました。また、座長からは、「難しいテーマでしたが、よく取り組めており、今後も継続した取り組みに期待しています」との評価を頂き、座長賞を頂くことができました。受賞に喜びを感じ、今後の研究への

取り組みに一層の励みとなりました。

最後に、他施設の発表の中にはインシデント、レスパイト、災害など日頃の業務の中でも関わりのある内容の研究も多くあり、他施設の研究も参考に今後も看護の質の向上に努めていきたいと思います。



ふれあい看護体験を 実施しました

副看護師長 山下 由



ふれあい看護体験とは、看護や医療に興味のある高校生が、病院に来て看護師の仕事を学び、実際に患者さんとも触れあうことのできる体験学習です。当院では7月27日(水)、高校生20名がふれあい看護体験に参加してくれました。今年は「感動を生む看護体験」になるように担当者、病棟スタッフ一同取り組みました。

まず病院の概要や看護の仕事について、講義形式で学びました。また、河村感染管理認定看護師からの感染予防について講義を受けることにより、実際に看護体験する際に正しい手指消毒や手洗いを行うことができていました。

病棟では、患者さんの手浴や足浴、洗髪等の看護ケアを看護師と共に実施しました。とても緊張した様子ではありましたが、実践中、患者さんから「ありがとう」「頑張ってるね」などたくさん声をかけていただくと笑顔で応え、ほっとし、達成感を感じられた様子でした。また普段乳児を抱っこしたことすらない高校生が多く、採血後の乳児の様子をみて頂きました。乳児の笑顔に高校生



みんなが「かわいい」と癒された場面でもありましたし、痛みを伴う処置を乗り越えた小さな命のたくましさを感じることができました。

午後は、放射線科、リハビリ、検査室を見学し、各部署の役割等について説明を受け、看護だけでなく病院の多職種が連携しながらケアを実践していることの理解を深めて頂きました。最後の意見交換会では、看護体験を通して、ケア一つ一つに様々な注意点が有り、患者さん一人一人に合わせて実践する看護の難しさを感じ、自分もできるようになりたいと前向きな意見が聞かれました。また、感染予防が徹底されていたこと、医師・看護師のコミュニケーションがよくできていた等、高校生のみなさんの気づきに驚かされることもありました。そして、「看護に携わりたい気持ちが強くなった」「看護師は患者さんの一番身近な存在であるということに気づいた」という意見も聞け、嬉しく思いました。将来の夢に大きな希望を持った医療や看護を目指す高校生の力になれるように、今後も取り組んでいきたいです。

感染管理室だより

平成28年度 感染防止対策地域連携 第2回合同カンファレンスの開催

感染管理室
河村ひとみ



当院は感染防止対策加算1、感染防止対策地域連携加算の施設基準を取得しています。施設基準要件には、感染防止対策加算2を算定する医療機関と合同で、年4回以上の院内感染対策に関するカンファレンスの開催が含まれており、当院も連携施設との合同カンファレンスを行っています。

今年は、当院地域医療研修センターにて、7月22日に第1回、9月23日に第2回の感染防止対策地域連携合同カンファレンスを開催しました。今年も昨年と引き続き、朝倉病院、上町病院、大西病院、高知西病院、永井病院の5施設との連携をさせていただいています。

第2回の合同カンファレンスには、当院及び連携医療機関より感染管理を担当する医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師合計28名が参加し、意見交換を行いました。今回のテーマは「各施設の耐性菌検出、抗菌薬使用の現状報告」でした。検出菌・耐性菌の推移、血液培養結果、黄色ブドウ球菌に占めるMRSAの割合などの耐性菌検出について、また抗菌薬使用量の推移、アンチバイオグラム、薬剤感受性率の推移などの抗菌薬使用の現状について、各施設からの報告を行いました。各施設からの発表後には、抗菌薬の選択方法、耐性菌に対する感染対策、血液培養採取のタイミングや消毒方法などについて、活発な意見交換を行うことができました。

慢性期病院では、急性期病院で治療後、耐性菌を保持した状態の患者を受け入れることが多いという現状があり、反対に急性期病院では、高齢者施設などから耐性菌の保菌患者が入院し、どちらも感染対策が必要となっています。カンファレンスでは、このような各施設の現状や問題についてディスカッションを行い、抗菌薬を適正に使用すると共に、日常の標準予防策の徹底が大切であるということを再認識しました。今後も、連携病院と共に地域における感染防止対策のさらなる充実に向け取り組んでいきたいと思っています。



●●●●● 栄養管理室だより

秋に楽しむ旬の味覚

副調理師長 中西 寛



食欲の
秋!!

秋刀魚、鯖、鮭といった魚介類からきのこ各種、里芋、栗 等々… 食材が登場します。
秋の魚の代表格 秋刀魚は、この時期もっともおいしくいただけます。
冬が近づくと、しだいに脂の量が減り、肉質にも違いがみられるようになります。
晩春の時期には、産卵の季節を迎え、味にも変化がみられます。
秋刀魚は塩焼きにしてお召しあがりののがお勧めです。



秋刀魚 * 大根おろしを添える理由 *

秋刀魚の塩焼きに添える大根おろしには、アミラーゼやプロテアーゼなど消化を促進する酵素が豊富に含まれ、脂の多い秋刀魚をさっぱりと食べられるようにするだけでなく、消化吸収も助ける作用があるといわれています。

きのこ類 * 種類と栄養 *

「しいたけ」「まいたけ」「えのきだけ」「まつたけ」「エリンギ」
ビタミン類、ミネラル類、食物繊維が豊富です。
うまみ成分であるグルタミン酸やグアニル酸も含んでいます。

健康レシピ

焼きさんまとキノコの炊き込みご飯



調理時間：50分（炊飯器の種類により前後します。
米の水切り時間は除きます）

栄養価：悪玉コレステロールを減らし、善玉コレステロールを増やす作用があるEPAやDHA、貧血予防にも効果的なビタミンEやビタミンB12が豊富に含まれるさんまと、低カロリーで食物繊維が豊富なきのこ類を組み合わせた炊き込みご飯です。
秋の食材ならではの味わいと、ホクホクの食感を楽しめます。

材料(4人分)

焼きさんま：2尾
しいたけ：4枚
しめじ：1/4パック
まいたけ：1/4パック
しょうが：30g

三つ葉：1/4束

米：3合
だし汁：540cc
薄口しょうゆ：大さじ2

【作り方】

- ①さんまを食べやすく一口大に切り、骨を取り除きます。
しいたけは軸をとり薄切りにし、しめじ、まいたけも石づきを切って手でほぐしておきます。
しょうがは皮をむき、せん切りにします。
- ②三つ葉は5mmの長さに切ります。
- ③お米は洗い、ザルにあげて水気を切った後、炊飯器にいれて、だし汁、薄口しょうゆ、酒を混ぜ、①を加えて炊飯します。
- ④炊きあがれば、具材を混ぜて茶碗に盛り、三つ葉を散らして出来上がりです。

医療安全管理室だより

5S活動報告を終えて

医療安全管理係長 山本 三恵



当院では医療安全管理活動として毎年5S活動に取り組んでいます。5S活動とは「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」の5つの頭文字をとっているもので、民間企業、特に工場などでは1980年代から積極的に取り入れている手法です。必要以上に物を置かない。誰でもすぐ分かる場所に物を置く、更に常に清潔に保つということを続けることで、探す手間を省いて作業効率を上げたり、不良在庫を抱えないためのコストを下げたりすることができ、最終的に企業の経済効率を高めるという効果があります。

医療の分野で考えると、コスト削減のほかに、物の定位置が決まっていて、明確に表示されていることは物を取り出すときに誤って違う物を取り出すという危険の回避に繋がります。そして、誰でもすぐ分かる場所におくということは、緊急時に必要物品を取り出すときにその効果が発揮されと考えます。整理の中には医療機器の整理点検の内容も含まれ、医療機器の不具合による事故防止に繋がります。また、清掃・清潔は感染防止という観点から医療現場では重要なことと言えます。

このような取り組みを、6月～8月までの3ヵ月の間に各部署で検討・実施し、結果を9月に報告を行いました。今年度は22の部署が5S活動に参加がありました。活動内容は各部署それぞれの特性を生かして、業務内容が類似した部署ではとても参考になったものと考えます。こうしてがんばった活動や、工夫を凝らした活動にはその成果を称えるために投票を行いました。投票結果の3位までは掲示期間を10月中旬まで延長し、掲示場所は1階受付ホール前としました。より多くの方に、職員の医療安全に対する思いや、取り組みを知っていただけたら幸いです。

医療に携わるものとして、日々の業務における安全対策はもちろん、患者さんがより安全で快適に治療や看護を受けていただけるよう環境調整にも工夫を重ねております。今後はこれらの活動が継続されるよう願っております。

最後になりましたが、5S活動にご協力いただいた皆様ありがとうございました。

今年度 5S活動報告 投票結果上位3部署はこちら



看護学校だより

オープンスクールを 開催しました

教員 飛田 沙知



看護学校のオープンスクールを7月24日、8月21日の2日間、開催しました。今年は、社会人、高校生とその保護者の方々、総数106名の参加がありました。本校のことを知っていただくために、色々と企画、準備を行いました。学校紹介は、一部学生が担当しプレゼンしましたが、事前に自分たちで在校生にアンケートを行い、学生の生の声が届くよう、工夫していました。模擬授業では「KYT — 医療安全への第一歩 —」「やってみよう血圧測定」のテーマで、体験参加型の授業をしました。看護技術の体験（沐浴、吸引、血圧測定、聴診）では学生が主となり、参加者が上手に実践できるようにサポートをしていました。

参加者のアンケートには、「大学と国看で迷っていたけど、この学校に入りたい気持ちが深まった」「特に印象に残っているのは、在校生と話しながら体験させていただいた学習です。この学校に通いたいという気持ちが強くなりました」「ぜひこの学校で娘を学ばせたいと思いました」などの感想があり、オープンスクールでの体験が、入試の応募につながればと願っています。

私自身、血圧測定の模擬授業を担当していましたが、熱心に聴講する姿勢から、本校または看護への興味の高さを感じ嬉しく思いました。また、学生も参加者の案内や、看護技術の説明を通して、自身の看護技術の見直しや人との対応について考える機会になったのではないかと思います。

今後も、この学校に「入学したい」と思ってもらえるよう、本校の魅力、看護の楽しさをアピールできるようなオープンスクールを企画・開催していきたいと考えています。

学生による
学校生活の紹介



参加者と学生と
一緒にランチ



吸引体験



地域医療連携室だより

高知病診連携フォーラムのご案内

看護師長 西本 美香



第124回高知病診連携フォーラム

日時:平成28年10月19日(水) 18:30~20:00

「鼻・副鼻腔疾患について」

国立病院機構高知病院 耳鼻咽喉科
岩崎 英隆 先生

第125回高知病診連携フォーラム

日時:平成28年11月16日(水) 18:50~20:30

「糖尿病の食事療法について」

国立病院機構高知病院 リウマチ科
松森 昭憲 医長

第126回高知病診連携フォーラム

日時:平成28年12月16日(金) 18:30~20:00

医療安全研修

「医療訴訟に耐えうる記録の
書き方及び苦情への対応等」

森脇法律事務所
森脇 正 弁護士

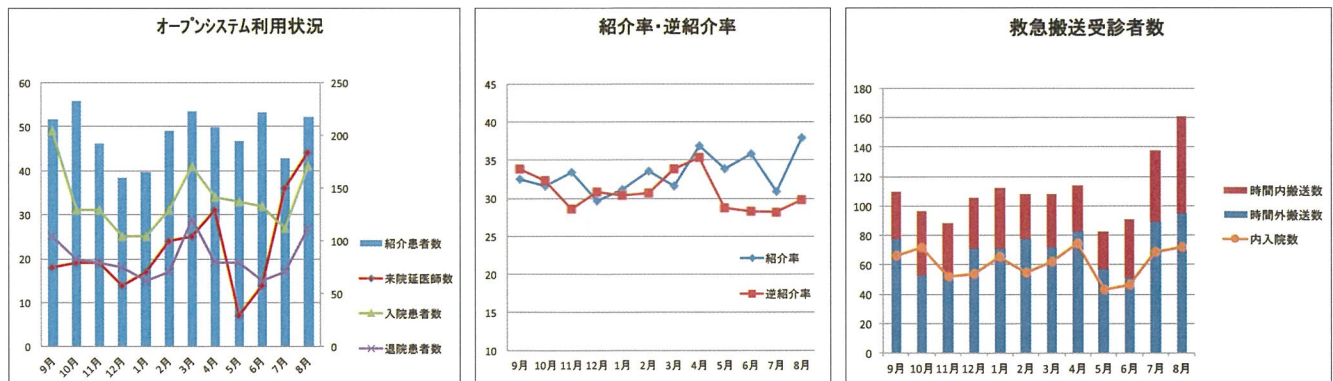
「多嚢胞性卵巣症候群と
メタボリックシンドローム」

徳島大学大学院医歯薬学研究部
産婦人科学分野

苛原 稔 教授

場所 国立病院機構高知病院2階
地域医療研修センター

高知病院地域連携等概況(28年度)



職員の異動

採用

泌尿器科医師 佐竹 宏文 2016年9月1日付

昇任

外科系診療部長 福田 昇司 2016年10月1日付

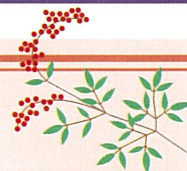
退職

一般職員(給与係) 小野川 順一 2016年8月31日付

看護師 田村 聡果 2016年8月31日付

泌尿器科医師 笠原 高太郎 2016年9月30日付

外科医師 大塚 敏広 2016年9月30日付



外来診療担当医表

(平成28年10月1日現在)

■受付時間 8:30~11:00

整形外科 火曜日は予約患者のみの診察になります。
(新患、予約のない方は原則診察できません)

■休診日 土曜・日曜・祝日・12月29日~1月3日



**独立行政法人
国立病院機構**

〒780-8077 高知県高知市朝倉西町1丁目2番25号
TEL (088) 844-3111 FAX (088) 843-6385
<http://www.hosp.go.jp/~kochihp>

高知病院

高知病院のシンボルマーク



診 療 科	区分・診察室番号		月	火	水	木	金
内 科	午 前	1 診 特別外来	⑫ 門田・町田(隔週) ⑪ 松森(糖尿病)	田岡・岡野(隔週) 岩原(血液)	井上・今西(隔週) 松森(糖尿病)	岡田・篠原(隔週) 岩原(内科)	畠山・矢葺(隔週) 松森(糖尿病)
	午 後	専門外来			化学物質過敏症(予約制)		
神 経 内 科			⑰	不定期(院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。)			
呼 吸 器 内 科 アレルギー科	午 前	1 診 2 診 3 診	⑧ 篠原 勉 ⑥ ⑫	大串 文隆 (受付10:00まで)	畠山 暢生 田岡 隆成 大串 文隆	大串 文隆 (紹介のみ) 町田 久典	岡野 義夫 篠原 勉 門田 直樹
	午 後	専門外来				禁煙外来 14:00~15:30(予約制)	
消 化 器 内 科	午 前		⑨ 井上・山本	岡田 泰行	板垣 達三	井上 修志	板垣 達三
循 環 器 内 科	午 前		⑦ 山崎 隆志	西村 直己		山崎 隆志	
	午 後	専門外来				ペースメーカー(第2木曜)	
リウマチ科			⑩ 松森 昭憲 (糖尿病も診察)		大串 文隆 (予約のみ)		松森 昭憲 (糖尿病も診察)
小 児 科	午 前	1 診	① 武市 知己	大石 尚文	武市 知己	小倉 英郎	大石 尚文
		2 診	② 大石 尚文		寺内 芳彦	武市 知己	高橋 芳夫
		3 診	③ 寺内 芳彦	井上 和男		井上 和男	小倉由紀子
	午 後	専門外来	神経・アレルギー (第2月曜医大循環器)	アレルギー 循環器	乳児健診	アレルギー NICUフォローアップ	神経・内分泌・腎臓 乳児健診
予防接種		14:00~16:00 (予約制)	14:00~16:00 (予約制)	14:00~16:00 (予約制)	14:00~16:00 (予約制)	14:00~16:00 (予約制)	
外 科	午 前		⑤ 山崎 誠司	福山 充俊 (乳がん検診も実施)	山崎 誠司	福山 充俊 (乳がん検診も実施)	花岡 潤
	午 後	専門外来		福山 充俊 (乳腺外来)		日野・福山 (乳腺外来)	花岡 潤 (肝臓・胆道・膵臓外来)
整 形 外 科	午 前		① 福田 昇司		小林 亨	福田 昇司	合田有一郎
	午 後		骨粗鬆症(予約制) 13:00~15:00			田村 竜也	
脳神経外科	午 前	1 診	⑧ 非常勤(10:00~12:00)		非常勤(9:00~11:00)		
呼吸器外科	午 前		⑦	先山 正二 日野 弘之		先山 正二 日野 弘之	
小 児 外 科	午 前		⑤				
皮 膚 科	午 前		⑬ 高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾
泌 尿 器 科	午 前		⑨ 渡邊 裕修 佐竹 宏文 (10:00~12:00)	大河内寿夫	佐竹 宏文	渡邊 裕修	佐竹 宏文 大河内寿夫 (10:00~12:00)
	午 後		⑮ 滝川 稚也 小林(超音波外来) (予約制)	福家 義雄	福家 義雄	小林 文子	予 約 制
婦 人 科	午 前		③① 木下 宏実	小林 文子	木下 宏実	滝川 稚也	木下 宏実
	午 後		福家(紹介患者) (予約制)		小林 文子 (完全予約制)		思春期外来
眼 科	午 前		⑳ 戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子
耳 鼻 咽 喉 科	午 前		⑯ 岩崎・中野	岩崎・中野	岩崎・中野	岩崎・中野	岩崎・中野
	午 後						
リハビリテーション科							
放 射 線 科			小松 幸久	塩田 博文	小松 幸久	塩田 博文	小松 幸久

※内科の1診は、月曜日から金曜日まで全て、医師1名担当の交代制となっています。

※市町村発行のクーポン券を利用される乳がん検診は、平日の午前中外科外来にて行っています。